

この音声問題は、小学校第六学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、小学校六年国語「話すこと・聞くこと」にチャレンジしましょう。  
今から一回だけ、問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙の空いているところにメモをしてもかまいません。

田中さんたち栽培委員会は、学校の畑で育てたそら豆の一部を、毎年防犯ボランティアの方々にプレゼントしています。ところが、今年はアブラムシが見つかり、放っておくと畑全体に広がるおそれがあります。そこで栽培委員会では、その対策について各自が調べてきたことをもとに話し合うことにしました。

司会 アブラムシがこれ以上畑に広がらないような対策を考えて、放送で協力を呼びかけたいと思います。まずは、それぞれ調べたことを発表してください。田中さん、お願いします。

田中 私は、アルミはくを地面全体に敷く方法を見つけました。アブラムシは、アルミはくがきらきら光るのをいやがって、近づくなくなるそうです。

村田 僕が調べたのは、アブラムシを食べる虫を集めてアブラムシを減らす方法です。テントウムシはアブラムシを食べるので、畑に集めればいいと思います。

司会 今の、田中さんと村田さんの二つの方法は、どちらも薬を使わずにアブラムシを減らし、そら豆を安全に食べてもらえるような方法でしたね。これらについて意見はありませんか。中山さん、どうぞ。

中山 薬を使わずにアブラムシを減らすというのは賛成だけど、二つの方法を聞いて、実行するのはとても難しいのではないかと思います。

司会 先ほどの二つの方法は実行が難しいのではないかという意見が出ていますが、この意見について、みなさん、どう思いますか。（間）佐藤さん、どうぞ。

佐藤 確かにアルミはくを広い畑全体に敷くのは、大変ですね。それに、せっかく敷いたとしても、雨や風でアルミはくがはがれてしまうことも考えられます。

鈴木 もう一つの虫を集める方法も難しいと思います。例えばテントウムシを探して捕まえるのも大変だし、テントウムシが畑から逃げていってしまうのではないのでしょうか。

司会 今までの三人の意見をまとめると、二つの方法は実行が難しいと言うことですね。実行できそうなのは、どのような方法はないでしょうか。

中山 私の家では、祖母が手作りの液体をまいています。身近な材料で作っているみたいですけど。それなら私も聞いたことがあります。「油石けん水」というものではないでしょうか。虫を追いはらうために身近な材料でできるようなので、作り方や効き目を本などで調べてみたらどうでしょうか。

佐藤 それは効き目がありそうですか。効き目がないと意味がないと思いますが。

この後も、話し合いはまだまだ続きますが、放送はこれで終わりです。  
それでは、問題用紙を開いて始めてください。